

広域飯能斎場予約管理システム導入事業機能要件一覧

葬祭業者(利用者)向け機能

機能名	機能内容	
システム全体	1	システムヘッダ内に記載するシステム名は、「広域飯能斎場組合」と表示されること。
	2	システムフッタ内に記載する自治体名は、「広域飯能斎場組合」と表示されること。
	3	お問合せ先で、斎場の詳細情報(斎場名、郵便番号、住所、電話番号)を確認できること。
	4	レスポンスデザインとし、スマートフォンやタブレットからでも操作しやすい画面であること。
	5	業者画面と職員画面でヘッダー・フッターの色を変え、区別が容易であること。
操作マニュアル閲覧	6	ログイン後に、システム上から業者用の操作マニュアルをPDFでダウンロードできること。
	7	ログイン前に、システム上から全員用(未登録業者を含む)の操作マニュアルをPDFでダウンロードできること。
利用者認証	8	「IDとパスワードでのログイン」もしくは「ワンタイムパスワードと併用したIDとパスワードでのログイン(二要素認証)」を導入時に選択できること。
	9	ワンタイムパスワードはメールで送信されること。
	10	ワンタイムパスワードは英小文字/英大文字/数字/記号から組み合わせを導入時に設定できること。
	11	ログイン時に、業者ID、パスワード、ワンタイムパスワードを入力しなければ、空き状況照会以外の一切の機能が利用できないこと。
	12	パスワード、ワンタイムパスワードは画面上で「●●●●」としてマスクし、読み取りされないようにすること。
	13	パスワードを忘れた場合、業者IDと登録メールアドレスを入力すると、メールでパスワード通知を行うことができること。
	14	パスワード有効期限が切れたユーザーでログインした場合、パスワードの再設定画面へ遷移できること。
トップページ	15	トップページで火葬炉の空き状況を確認できること。
	16	メインメニューを選択するとサブメニューが表示され、必要な操作を、より簡単に判断できるメニューであること。
	17	予約登録メニューに、火葬炉予約・式場予約・霊安室予約が表示され、選択できること。
	18	トップページに斎場(管理者)からのお知らせ内容を表示できること。
	19	スマートフォンで利用する場合、サイドメニューがデフォルトで閉じた状態であること。
空き状況照会(全施設共通)	20	1週間単位の一覧表示で空き状況の確認ができること。
	21	空き状況は14日分の確認が可能であること。
	22	空き状況は、横に日付、縦に時間の表形式で表示されること。
	23	空き状況は、六曜が表示されること。
	24	地域内優先枠は白色、共通枠は黄色で表示されること。
	25	火葬炉の空き枠(日時)を選択し、付帯する施設(霊安室、待合室等)も合わせて予約ができること。
	26	サイドメニューにて選択した施設以外に、付帯する施設(霊安室、待合室等)の空き状況も参照可能であること。
	27	空き状況照会画面に斎場(管理者)からのお知らせ内容を表示できること。

葬祭業者(利用者)向け機能

機能名	機能内容
	28 火葬炉は休場日、通夜は休場日前日の予約はできないよう、自動的に制御すること。
	29 ログインしていない場合は、空き枠(日時)を選択するとログイン画面に遷移すること。
火葬炉空き状況照会	30 普通炉と大型炉の予約が可能であること。
	31 空き状況は、数字もしくは○△×で表示できること。△を表示する場合の残件数は導入時に設定できること。
	32 空き状況は、○×で表示できること。
	33 検索条件で「通夜開始時間」「告別式開始時間」「式場」を指定し、空き枠の絞り込みができること。
霊安室空き状況	34 空き状況は、数字もしくは○△×で表示できること。△を表示する場合の残件数は導入時に設定できること。
	35 空き状況の空き数を選択することで、利用開始日時と利用終了日時を選択できること。
待合室空き状況	36 火葬炉、式場の予約を行う時に、待合室の空き状況を参照できること。
	37 火葬待合室と通夜待合室を分けて管理できること。
	38 空き状況は、数字もしくは○△×で表示できること。△を表示する場合の残件数は導入時に設定できること。
住民登録地の確認	39 地域内または地域外を選択できること。また、地域内・地域外を選択するための説明文を記載できること。
	40 地域内又は地域外を選択したタイミングで、予約枠の仮押さえを行い、排他制御を行うこと。
	41 地域内優先枠を使用しない場合、選択画面を省略し、画面遷移を最小限とする設定が可能なこと。
付帯施設選択	42 トップページで選択した施設以外の付帯施設の利用時間を一画面で選択できること。
	43 トップページで選択した予約メニュー毎に利用できる付帯施設を表示すること。
	44 付帯設備が存在しない場合、選択画面を省略し、画面遷移を最小限とする設定が可能なこと。
	45 火葬日時を選択できること。ただし、火葬炉予約から予約を行った場合、選択した日時が表示されること。
	46 霊柩車の利用有無を選択できること。
	47 霊安室の利用有無を選択できること。また、利用開始日時を選択できること。利用終了日時は式場予約の場合式場利用開始日時が、火葬予約の場合火葬日時が自動で設定されること。
	48 霊安室の予約は、現在日時以降からの予約が可能であること。
	49 待合室の利用有無を選択できること。また、利用する部屋、時間の選択ができること。
	50 式場を利用する場合、空き状況画面で選択した通夜日時、告別日時が表示されること。
	51 式場を利用する場合、空き状況画面で選択した時間内で、式場利用時間の入力ができること。
	52 式場を利用する場合、通夜時の待合室と火葬時の待合室をそれぞれ選択できること。
予約情報登録(全施設共通)	53 業者が予約を行う場合、「業者予約」状態とし、職員確認後に「予約確定」とする運用に対応できること。
	54 予約情報登録画面には、施設予約情報(予約する施設名、利用開始日時、利用終了日時、枠情報)が表示されること。
	55 入力必須項目と任意入力項目は、導入時に設定できること。稼働後でも運用が変更になった場合、システム上から入力必須項目と任意入力項目を変更できること。

葬祭業者(利用者)向け機能

機能名	機能内容	
	56	業者予約と予約確定で、それぞれ入力必須項目と任意入力項目を設定できること。
	57	業者予約と予約確定で、それぞれ表示項目と非表示項目を設定できること。
	58	生年月日と死亡年月日時(分娩年月日時、手術年月日時)は和暦と西暦のどちらでも入力が可能であること。
	59	死亡年月日時(分娩年月日時、手術年月日時)の時間表記は、12時間表記と24時間表記どちらにも対応できること。
予約情報登録(全施設共通) ー死亡者情報	60	選択した火葬種別が表示されること。
	61	予約登録画面から火葬種別の変更が行えること。
	62	選択した地域区分が表示されること。
	63	地域区分の注意文言を表示できること。
	64	構成市町村がある場合、構成市の選択ができ、地域区分が域内の場合は必須選択、域外の場合は任意選択とすること。
	65	使用料の免除有無を選択できること。
	66	死亡者の氏名、氏名カナを入力できること。
	67	死亡者の郵便番号、住所、本籍地を入力できること。
	68	死亡者住所から死亡者本籍に住所をコピーできること。
	69	氏名、氏名カナ、郵便番号には入力例が表示されること。
	70	郵便番号を入力し、住所検索が行えること(全国の住所を検索できること)。
	71	性別を選択できること。
	72	死亡年月日時の元号に、予約日の元号がデフォルトで表示されていること。
予約情報登録(火葬種別:大人、 小人)ー死亡者情報	73	生年月日を入力でき、不詳または空欄でも登録できること。
	74	死亡年月日時を入力でき、推定年月日または不詳、空欄でも登録できること。
	75	年齢は生年月日と死亡年月日時から自動計算されること。
	76	死因を選択できること。
	77	宗派を選択できること。
	78	ペースメーカを「有」「無」「未確認」から選択できること。
	79	棺サイズを選択できること。
	80	死亡場所(名称)を入力できること。
	81	死亡場所(住所)を入力できること。
	82	出棺場所を入力できること。

葬祭業者(利用者)向け機能

機能名	機能内容	
	83	埋葬予定場所(名称)を入力できること。
	84	埋葬予定場所(住所)を入力できること。
予約情報登録(火葬種別:死産児)－死亡者情報	85	氏名、氏名カナ、郵便番号、住所、本籍地は父母を分けて登録できること。
	86	宗派を選択できること。
	87	棺サイズを選択できること。
	88	妊娠月数(もしくは妊娠週数)を入力できること。
	89	妊娠月数(もしくは妊娠週数)に入力制限(最小値～最大値)を設定できること。
	90	分娩年月日時を入力でき、未来日付の登録可否を設定できること。
	91	分娩の場所(名称)を入力できること。
	92	分娩の場所(場所)を入力できること。
	93	出棺場所を入力できること。
	94	埋葬予定場所(名称)を入力できること。
	95	埋葬予定場所(住所)を入力できること。
予約情報登録(火葬種別:人体の一部)－本人情報	96	生年月日を入力でき、不詳でも登録できること。
	97	手術年月日時を入力でき、未来日付の登録可否を設定できること。推定年月日または不詳でも登録できること。
	98	手術場所(名称)を入力できること。
	99	手術場所(場所)を入力できること。
	100	重量を入力できること。
	101	包数を入力できること。
	102	人体の一部種類を選択できること。
	103	部位を入力できること。
	104	人体の一部引取り有無を選択できること。
予約情報登録(火葬種別:改葬)－死亡者情報	105	生年月日を入力でき、不詳でも登録できること。
	106	死亡年月日時を入力でき、推定年月日または不詳でも登録できること。
	107	年齢は生年月日と死亡年月日時から自動計算されること。直接入力もできること。
	108	宗派を選択できること。
	109	棺サイズを選択できること。
	110	過去埋火葬年月日を入力でき、不詳でも登録できること。

葬祭業者(利用者)向け機能

機能名	機能内容
	111 過去埋火葬場所(名称)を入力できること。
	112 過去埋火葬場所(住所)を入力できること。
	113 出棺場所を入力できること。
	114 埋葬予定場所(名称)を入力できること。
	115 埋葬予定場所(住所)を入力できること。
	116 包数を入力できること。
予約情報登録(火葬種別:臓器等)－本人情報	117 生年月日を入力でき、不詳でも登録できること。
	118 手術年月日時を入力でき、未来日付の登録可否を設定できること。推定年月日または不詳でも登録できること。
	119 手術場所(名称)を入力できること。
	120 手術場所(場所)を入力できること。
	121 重量を入力できること。
	122 包数を入力できること。
	123 人体の一部種類を選択できること。
	124 部位を入力できること。
	125 人体の一部引取り有無を選択できること。
	126 詳細情報(別途特記事項)を入力できること。
予約情報登録(全施設共通)－申請者情報	127 許可証番号を入力できること。
	128 申請者の氏名、氏名カナを入力できること。
	129 申請者の郵便番号、住所を入力できること。
	130 死亡者住所を申請者住所にコピーできること。
	131 氏名、氏名カナ、郵便番号には入力例が表示されること。
	132 郵便番号を入力し、住所検索が行えること(全国の住所を検索できること)。
	133 死亡者等との続柄を入力できること。
	134 申請者の電話番号、メールアドレスを入力できること。
	135 式場予約の場合、付き添いの有無を選択できること。
	136 式場予約の場合、会葬者数を入力できること。
予約情報登録(全施設共通)－業者情報	137 業者名、担当者名がログイン情報から自動で表示されること。
	138 業者の電話番号、メールアドレスが自動で表示されること。

葬祭業者(利用者)向け機能

機能名	機能内容	
	139	自動で表示された業者の電話番号、メールアドレスを変更できること。
	140	担当者の電話番号、メールアドレスを入力できること。
	141	担当者は業者情報から検索し、選択できること。
	142	担当者メールアドレスのほかに、2つメールアドレスを入力できること。入力したメールアドレスすべてに予約確認メールを送付できること。
予約情報登録(全施設共通) ーその他	143	備考を入力できること。
予約登録確認	144	正しい入力が行われていない場合、エラーが表示されること。
	145	死亡年月日時と火葬年月日が24時間以内の場合、エラーが表示されること。
	146	現時点での施設の参考料金が表示されること。
予約登録完了	147	画面に予約番号が表示されること。
	148	予約内容を電子メールで自動送信できること。
	149	メール本文に参考料金を表示すること。
予約確認	150	業者が登録した予約一覧を表示できること。
	151	予約一覧から予約を選択すると、その予約の詳細(施設情報、死亡者情報、申請者情報、業者情報、その他情報)を表示できること。
	152	過去の予約は一覧に表示されないこと。
	153	取消された予約は一覧に表示されないこと。
	154	予約一覧は更新日時順で表示されること。
	155	予約一覧に表示する項目は導入時に設定できること。
	156	担当者IDでログインした場合、別の担当者の予約内容を閲覧できること。
	157	担当者IDでログインした場合、別の担当者の予約内容の変更及び取消ができないこと。
	158	予約確定となった日時を確認できること。
予約変更	159	予約変更可能期間内であれば、予約内容を変更できること。ただし、死亡者氏名は変更できないこと。
	160	予約受付年月日が表示されること。
	161	予約変更完了後、変更された内容が電子メールで自動送信できること。
	162	メール本文に変更が反映された参考料金を記載すること。
	164	職員の確認処理が完了し、予約確定となった予約は変更できないこと。
	165	火葬炉のみの予約の場合、施設情報は変更できないこと。
予約取消	166	予約取消可能期間内であれば、予約を取消できること。
	167	予約取消完了後、取消完了を通知する電子メールを自動送信できること。

葬祭業者(利用者)向け機能

機能名	機能内容	
	168	メール本文に削除時の参考料金を記載すること。
	169	職員の確認処理が完了し、予約確定となった予約は取消できないこと。
不正予約対策	170	予約の変更、取消ができないこと。
	171	死亡者氏名・カナを変更できないこと。
	172	同一の業者、同一死亡者氏名及び生年月日で複数の予約を行えないこと。
	173	業者が予約取消を行った場合、一定期間、同じ火葬日時を再予約できないこと。
随時帳票	174	予約番号を指定し、使用許可申請書を出力できること。
	175	予約番号を指定し、使用申請書を出力できること。
	176	予約番号を指定し、予約受付確認書を出力できること。
	177	予約番号を指定し、予約変更確認書を出力できること。
	178	予約番号を指定し、予約取消確認書を出力できること。
業者情報	179	利用登録申請をシステム上で行えること。
	180	利用登録申請の際に希望のログインIDを指定できること。
	181	利用登録申請完了時にログインIDとサイトURLを通知するメールを送付できること。
	182	業者自身がシステム利用のための登録を行うことはできないこと。
	183	業者名、住所、電話番号、業者メールアドレス、業者ID、パスワード、担当者、担当者メールアドレスを確認できること。
	184	1業者に対する担当者の最大数は、導入時に設定できること。
	185	代表電話番号、代表のメールアドレス、担当者氏名、担当者のメールアドレス、業者IDのパスワードを変更・削除できること。
	186	パスワードが分からなくなった場合、登録している代表のメールアドレスにパスワードを通知できること。
	187	業者担当者毎に、氏名、メールアドレス、電話番号、ログインID、パスワードの登録ができること。
	188	業者担当者の追加・変更・削除が可能であること。
	189	登録したメールアドレスの確認のため、テストメールが送付できること。
その他	190	次の代表的なブラウザで正常に表示し動作すること。 Edge、Google Chrome、Apple Safari、Firefox

職員向け機能

機能名	機能内容	
職員認証	190	「IDとパスワードでのログイン」もしくは「ワンタイムパスワードと併用したIDとパスワードでのログイン(二要素認証)」を導入時に選択できること。
	191	ワンタイムパスワードはメールで送信されること。
	192	ワンタイムパスワードは英小文字/英大文字/数字/記号から組み合わせを導入時に設定できること。
	193	ログイン時に、職員ID、パスワード、ワンタイムパスワードを入力しなければ、一切の機能が利用できないこと。
	194	パスワード、ワンタイムパスワードは画面上で「●●●●」としてマスクし、読み取りされないようにすること。
操作マニュアル閲覧	195	システム上から一般職員用の操作マニュアルをPDFでダウンロードできること。
	196	権限が管理者の場合、管理者用の操作マニュアルをPDFでダウンロードできること。
	197	職員毎にログインID、パスワード、操作権限(一般職員とシステム管理者)の登録、変更が行えること。
職員登録	198	登録したメールアドレスの確認のため、テストメールを送付できること。
	199	稼働前に、職員情報を登録できること。
	200	登録された職員の情報(一覧、詳細)を表示できること。また、職員情報のCSV出力ができること。
	201	システム管理者は、マスタメンテナンス機能が利用できること。
	202	パスワードの設定ルールを設定できること。 ・有効期限 ・英数混在 ・変更履歴管理(3つまで)
業者登録	203	登録職員の最終ログイン日時を参照できること。
	204	業者の基本情報を登録・変更・削除できること。 ・業者名 ・郵便番号 ・所在地 ・代表者氏名 ・電話番号 ・メールアドレス(最大10件) ・ログインID ・パスワード ・1日の最大火葬件数 ・システム停止期間
	205	業者情報に紐づく業者担当者情報を登録・変更・削除できること。 ・担当者氏名 ・電話番号 ・メールアドレス ・ログインID ・パスワード
	206	業者情報の任意入力項目を、導入時に設定できること。
	207	郵便番号を入力し、住所検索が行えること(全国の住所を検索できること)。
	208	稼働前に、業者情報の登録ができること。
	209	登録された業者の情報(一覧、詳細)を表示できること。また、業者情報のCSV出力ができること。
	210	業者情報の重複登録を防止するため、業者情報登録時に業者名および所在地でチェックをかけ同一名称で登録済みの場合は警告メッセージを表示すること。

職員向け機能

機能名	機能内容
	211 業者の検索を以下項目で実施できること。 ・業者名 ・所在地 ・電話番号 ・登録日
	212 業者登録証明書を発行できること。
	213 メールアドレスの確認のため、テストメールを送付できること。
	214 一度削除した業者を復活したい場合、削除取消が行えること。
	215 パスワードの設定ルールを設定できること。 ・有効期限 ・英数混在 ・変更履歴管理(3つまで)
	216 登録済み業者にメールを一斉送信できること。
	217 一斉送信メールには添付ファイルの有無を選択できること。
	218 一斉送信メールの件名と本文にデフォルトの文言を設定できること。
	219 業者毎に一日の最大火葬件数を設定し、同日に大量の予約を確保する不正予約を防止できること。
	220 ペナルティとして任意の期間、ログインできないよう設定できること。
	221 登録業者及び担当者の最終ログイン日時を参照できること。
空き状況照会	222 1週間単位の一覧表示で空き状況の確認ができること。
	223 火葬炉の種別単位に空き状況照会が可能であること。
	224 職員専用枠は緑色で表示されること。
領収情報登録	225 領収情報を管理できること。
	226 領収情報画面で、料金の申請年月日(業者が料金を払った日)を登録できること。
	227 領収情報画面で、料金の実績年月日(業者から料金を受け取った日)を登録できること。
	228 領収情報画面で、料金の還付日(料金を還付した日)を登録できること。
	229 領収情報画面で、受付担当者と備考を登録できること。
	230 領収情報画面で、同予約番号の予約情報を参照できること。
	231 領収情報画面で、金額の調整ができること。
	232 複数の予約に対して一括で領収情報を登録できること。
	233 予約が取消された場合、自動で還付情報が登録されること。
実績情報登録	234 予約した火葬日時とは別に、実際に火葬した「点火(着火)時間」と「消火時間」を、時分レベルで記録できること。
	235 火葬した実績を登録できること。また、点火(着火)時間のみの入力や、火葬のない予約の実績管理にも対応できること。その他、運用上必要な入力項目を導入時に設定できること。
予約登録	236 職員が業者の代行として予約登録が行えること。また、代行予約した予約は、業者でログインした場合の予約一覧にも表示されること。
	237 葬祭業者を介さない住民からの予約を職員が代行入力できること。

職員向け機能

機能名	機能内容	
	238	業者IDや業者名から業者と担当者を検索できること。
	239	業者の予約可能時間を超えて予約が可能であること。
	240	氏名に異体字(外字)がある場合、業者には表示されない項目で、氏名とは別途入力できること。また、帳票にはその項目から氏名が出力されること。
	241	職員の確認、承認が終わった予約を「業者予約」から「予約確定」に切替できること。
	242	予約完了メールの送信先を予約毎に選択できること。選択肢は「申請者」「業者」「管理者」「送信しない」とする。
予約登録完了	243	予約番号は自動採番されること。
予約一覧(検索)	244	次の予約情報の項目で検索でき、予約を絞り込めること。 ・予約番号 ・予約区分 ・予約内容 ・火葬種別 ・料金体系 ・地域区分 ・構成市町村 ・申請状態 ・実績有無 ・予約状態 ・施設利用開始日 ・火葬年月日 ・施設利用日 ・式場利用年月日 ・更新日 ・登録日 ・死亡者等氏名 ・死亡者等氏名カナ ・死亡者等氏名かな ・申請者氏名 ・申請者氏名カナ ・申請者氏名かな ・登録業者・職員名 ・登録職員名カナ ・登録職員名かな ・業者名 ・担当者名 ・業者/担当者ID ・申請情報 ・実績情報
	245	次の領収情報の項目で検索でき、予約を絞り込めること。 ・申請種別 ・申請内容 ・調整有無 ・申請年月日 ・実績年月日 ・受付担当者
	246	次の実績情報の項目で検索でき、予約を絞り込めること。 ・実績登録有無 ・点火(着火)日時 ・消火日時
	247	検索項目は導入時に設定ができること。
	248	予約が一覧で表示できること。
	249	予約一覧は、初期値として施設利用日が本日以降で表示されること。
	250	予約一覧は、初期値として取消された予約は表示されないこと。

職員向け機能

機能名	機能内容	
	251	直近で検索した条件が保持されること。
	252	一覧の項目はチェックボックスにより表示・非表示を切替できること。
	253	選択した予約内容をPDFで出力できること。
	254	検索結果の予約情報のCSV出力ができること。
	255	検索結果の領収情報のCSV出力ができること。
	256	予約一覧から予約を選択することで、予約の詳細(予約済の施設情報、死亡者情報、申請者情報、業者情報)を表示できること。
	257	検索結果の件数が500件を超えた場合、エラーを表示すること。また、上限の件数は導入時に設定の変更が可能であること。
	258	検索条件「施設利用開始日」「施設利用日」「火葬年月日」「式場年月日」が全て空欄の場合、エラーを表示すること。
領収一覧(検索)	259	次の項目で検索でき、領収情報を絞り込めること。 ・申請料金体系 ・申請種別 ・申請内容 ・申請火葬種別 ・申請地域区分 ・調整有無 ・申請年月日 ・実績年月日 ・受付担当者
	260	検索項目は導入時に設定ができること。
	261	領収情報が一覧で表示できること。
	262	領収一覧は、初期値として0円の領収情報は表示されないこと。
	263	領収一覧画面から、同予約番号の予約情報を参照できること。
	264	直近で検索した条件が保持されること。
	265	一覧の項目はチェックボックスにより表示・非表示を切替できること。
	266	検索結果の領収情報のCSV出力ができること。
予約確認	267	過去の予約や取消した予約を含め、全ての内容を照会できること。
	268	変更履歴を確認できること。
	269	変更前の予約情報を確認できること。
予約変更	270	業者が登録した予約内容を変更できること。
	271	予約確定となっている予約内容を変更できること。
	272	業者が死亡者氏名・カナを変更できない設定の場合でも、職員は死亡者氏名・カナを変更できること。
	273	予約登録時に登録された業者情報を解除できること。
	274	予約変更可能期間を任意に設定できること。
予約取消	275	業者が登録した予約の取消ができること。
	276	予約確定となっている予約の取消ができること。

職員向け機能

機能名	機能内容	
	277	予約取消後、予約枠を即時解放せず、一定時間、業者からは予約できない枠にすること。
予約情報のコピー	278	取消済の予約内容をコピーし、予約内容をペーストする形で新規予約登録が行えること。
帳票出力機能	279	帳票出力時に異体字(外字)が印刷できること。
集計帳票	280	帳票の出力形式を、PDFとExcelから導入時に選択できること。
	281	直近で検索した条件が保持されること。
	282	地域内の構成市町村別に集計ができること。
	283	出力範囲に対象データがない場合でも、帳票が出力されること。
集計帳票(随時集計)	284	火葬種別、施設別の収納還付一覧を出力できること。また、出力範囲(年月日)を指定できること。
	285	施設別の予約件数表を出力できること。また、出力範囲(年月日)を指定できること。
	286	広域飯能斎場組合にて定める火葬簿を出力できること。また、出力範囲(年月日)を指定できること。
	287	火葬時間別稼働率一覧を出力できること。また、出力範囲(年月日)を指定できること。
	288	曜日別火葬炉使用率一覧を出力できること。また、出力範囲(年月日)を指定できること。
	289	死亡年月日時から火葬年月日までの待ち日数一覧を出力できること。また、出力範囲(年月日)を指定できること。
	290	待ち日数一覧(休場日除く)を出力できること。また、出力範囲(年月日)を指定できること。
	291	業者別予約状況一覧を出力できること。また、出力範囲(年月日や登録業者)を指定できること。
	292	業者別システム利用履歴一覧を出力できること。また、出力範囲(年月日や登録業者)を指定できること。
集計帳票(日次集計)	293	施設予約状況一覧(予約一覧)を出力できること。また、出力範囲(年月日)を指定できること。
	294	施設割当スケジュール表を出力できること。また、出力範囲(年月日)を指定できること。
集計帳票(月次集計)	295	火葬予約件数一覧を出力できること。また、出力範囲(年月)を指定できること。
	296	施設別稼働率一覧を出力できること。また、出力範囲(年月)を指定できること。
	297	料金体系別使用料および支払件数一覧を出力できること。また、出力範囲を(年月)を指定できること。
	298	施設別空き状況一覧を出力できること。また、出力範囲を(年月)を指定できること。
	299	広域飯能斎場組合にて定める火葬状況報告書を出力できること。また、出力範囲(年月)を指定できること。
	300	施設割当一覧を出力できること。また、出力範囲(年月)を指定できること。
	301	業者別予約操作件数一覧を出力できること。
集計帳票(年次集計)	302	業者一覧を出力できること。また、出力範囲(年度)を指定できること。
	303	火葬予約件数一覧を出力できること。また、出力範囲(年度)を指定できること。
	304	施設別稼働率一覧を出力できること。また、出力範囲(年度)を指定できること。
	305	料金体系別使用料および支払件数一覧を出力できること。また、出力範囲(年度)を指定できること。
	306	施設割当一覧を出力できること。また、出力範囲(年度)を指定できること。

職員向け機能

機能名	機能内容	
随時帳票	307	申請書・許可書において、帳票に出力する許可者を帳票毎に設定できること。また、稼働後でも、許可者が変更になった場合、システム上から変更できること。
	308	申請書・許可書において、帳票に出力する公印を帳票毎に設定できること。また、稼働後でも、公印が変更になった場合、システム上から変更できること。
	309	広域飯能斎場組合にて定める斎場使用許可申請書(死体)を出力できること。
	310	広域飯能斎場組合にて定める斎場使用許可申請書(死胎)を出力できること。
	311	広域飯能斎場組合にて定める斎場使用許可書(死体)を出力できること。
	312	広域飯能斎場組合にて定める斎場使用許可書(死胎)を出力できること。
	313	広域飯能斎場組合にて定める領収書、領収書(控)を出力できること。
	314	火葬証明申請書を出力できること。
	315	分骨証明申請書を出力できること。
	316	火葬証明書を出力できること。
	317	分骨証明書を出力できること。
	318	使用料減免証明書を出力できること。
	319	予約受付確認書を出力できること。また、出力形式を、PDFとExcelから導入時に選択できること。
	320	予約変更確認書を出力できること。また、出力形式を、PDFとExcelから導入時に選択できること。
	321	予約取消確認書を出力できること。また、出力形式を、PDFとExcelから導入時に選択できること。
施設管理-全施設	322	検索条件を指定し、一覧から該当のマスタを検索できること。
	323	式場専用枠、職員専用枠、地域内優先枠、通常枠を同時時間帯で設定できること。
	324	複数斎場の場合、斎場毎に施設や枠数を設定できること。
施設管理-火葬炉	325	火葬時間毎にマスタを設定できること。
	326	火葬時間の追加登録ができること。
	327	火葬時間毎に、火葬炉種別(普通炉)を登録できること。
	328	火葬時間毎に、式場専用枠を設定できること。
	329	式場専用枠を指定した日時(火葬の○日前の○時)に自動解放できること。
	330	火葬時間毎に、利用可能な式場を設定できること。
	331	火葬時間毎に、地域内優先枠数と通常枠数を設定できること。
	332	火葬時間毎に、火葬種別毎の予約可能数を設定できること。
	333	火葬時間毎に、業者が予約できない枠(職員専用枠)を設定できること。
	334	火葬時間毎に、友引日、友引翌日、友引前日の設定を追加できること。友引日は登録されているカレンダーより参照し、自動的に空き状況に反映されること。
施設管理-式場	335	式場毎にマスタを設定できること。
	336	式場名称を設定できること。

職員向け機能

機能名	機能内容
	337 式場毎に、業者が予約できない枠(職員専用枠)を設定できること。
	338 式場毎に、利用不可期間を設定できること。
	339 式場毎に、友引日、友引翌日、友引前日の設定を追加できること。友引日は登録されているカレンダーより参照し、自動的に空き状況に反映されること。
	340 式場毎に、利用時刻のパターン(通夜時間、告別式時間、火葬時間)を登録でき、初期値を設定できること。また、5パターンまで登録できること。
	341 式場のパターン毎に、通夜利用の可否を設定できること。
	342 式場のパターン毎に、火葬利用の可否を設定できること。
	343 式場のパターン毎に、地域内優先枠の設定ができること。
施設管理-待合室	344 待合室の利用時間毎にマスタを設定できること。
	345 待合室名称を設定できること。
	346 利用時間毎に、待合室の種別を追加できること。
	347 複数の待合室で構成された待合室を設定できること。
	348 利用時間毎に、地域内優先枠数と通常枠数を設定できること。
	349 利用時間毎に、業者が予約できない枠(職員専用枠)を設定できること。
	350 利用時間毎に、友引日、友引翌日、友引前日の設定を追加できること。友引日は登録されているカレンダーより参照し、自動的に空き状況に反映されること。
	351 利用時間毎に、利用時刻のパターン(2時間利用、3時間利用、4時間利用)を登録でき、初期値を設定できること。また、5パターンまで登録できること。
施設管理-霊安室	352 霊安室のマスタを設定できること。
	353 地域内優先枠数と通常枠数を設定できること。
	354 業者の予約可否を設定できること。
	355 友引日、友引翌日、友引前日の設定を追加できること。友引日は登録されているカレンダーより参照し、自動的に空き状況に反映されること。
	356 利用体系(式場予約、火葬のみ予約)毎に、予約可能件数を設定できること。
	357 霊安室利用終了日時は、施設利用開始日時～火葬日時の間で選択できること。
施設管理-霊柩車	358 霊柩車毎にマスタを設定できること。
	359 霊柩車名称を設定できること。
	360 霊柩車毎に、利用可能な火葬時刻を設定できること。
	361 霊柩車毎に、友引日、友引翌日、友引前日の設定を追加できること。友引日は登録されているカレンダーより参照し、自動的に空き状況に反映されること。
	362 霊柩車毎に、地域内優先枠数と通常枠数を設定できること。
	363 霊柩車毎に、業者の予約可否を設定できること。
マスタ管理-利用不可	364 利用不可日、期間を設定できること。
	365 利用不可日はカレンダーから日付を選択して設定できること。
	366 利用不可日毎に、友引日、友引翌日、友引前日の設定を追加できること。友引日は登録されているカレンダーより参照し、自動的に空き状況に反映されること。

職員向け機能

機能名	機能内容	
	367	利用不可日毎に、対象施設(普通炉、通夜、告別式、霊安室-入棺、霊安室-出棺、待合室-火葬、待合室-通夜、霊柩車)を設定できること。
	368	利用不可日毎に、対象施設が普通炉の場合、時刻毎に設定ができること。
	369	利用不可日毎に、対象施設が通夜、告別式の場合、名称毎に設定ができること。
	370	利用不可日毎に、対象施設が待合室-火葬、待合室-通夜の場合、名称毎、開始時刻毎に設定ができること。
	371	利用不可日毎に、対象施設が霊柩車の場合、名称毎に設定ができること。
	372	空き状況の表示内容を設定できること。 ・予約不可 ・メンテナンス ・友引 ・友引翌日 ・友引前日
	373	検索条件を指定し、一覧から該当のマスタを検索できること。
マスタ管理-予約項目	374	予約時に入力する詳細項目については、稼働後でも、システム上から表示・非表示、必須・任意項目、項目名の変更、項目の追加、選択肢の内容変更を職員が行えるようにすること。
	375	独自の自由項目を20項目まで追加できること。また、項目の後ろには単位を設定することができ、入力の種類は以下から選択できること。 ・テキスト入力項目 ・数字入力項目 ・プルダウン項目 ・日付項目
	376	予約項目は火葬種別毎にそれぞれ設定できること。
	377	予約項目は予約する施設毎にそれぞれ設定できること。
	378	予約項目は業者操作と職員操作で、表示・非表示と必須・任意をそれぞれ設定できること。
	379	火葬種別毎に設定した予約項目(項目名や表示・非表示、必須・任意)を他火葬種別にコピーできること。
	380	予約登録画面(設定した予約項目)のイメージを表示できること。
マスタ管理-料金	381	火葬炉料金(減免の有無、火葬種別、地域区分毎)の管理ができること。
	382	式場料金(減免の有無、式場の種類、地域区分毎)の管理ができること。
	383	待合室料金(減免の有無、待合室の種類、地域区分毎)の管理ができること。また、延長料金の設定ができること。
	384	霊安室料金(減免の有無、地域区分毎)の管理ができること。また、延長料金の設定ができること。
	385	霊柩車料金(減免の有無、霊柩車の種類、地域区分毎)の管理ができること。
	386	諸証明手数料料金の管理ができること。
	387	適用開始日を設定し、料金の改定に対応できること。
	388	導入時に料金計算基準日を以下から選択できること。 ・施設利用日 ・施設利用開始日 ・申請年月日 ・実績年月日
マスタ管理-お知らせ	389	各権限向けにお知らせ登録が行えること。
	390	お知らせのフォントはサイズ変更、太字、斜体、取消線、下線、色の変更に対応できること。
	391	お知らせはハイパーリンクの対応ができること。

職員向け機能

機能名	機能内容
	392 お知らせに画像の追加ができること。
	393 過去のお知らせ情報についても閲覧、引用できるようにすること。
	394 検索条件を指定し、一覧から該当のマスタを検索できること。
	395 空き状況画面、予約確認画面、予約完了画面にそれぞれ異なるお知らせを登録できること。
マスタ管理-権限マスタ	396 権限は職員が3種類(管理者、一般、役所)、業者が2種類(地域内登録業者、地域外登録業者)、未ログイン状態の計6種類設定できること。また、権限毎に運用を設定できること。
	397 権限毎に、業者予約への操作権限(参照、登録、変更、取消)を設定できること。
	398 権限毎に、予約確定への操作権限(参照、登録、変更、取消)を設定できること。
	399 権限毎に、予約可能時間帯を設定できること。
	400 権限毎に、予約情報変更可能期間を設定できること。
	401 権限毎に、帳票(随時、集計)出力可否を設定できること。
	402 権限毎に、マスタの操作権限(参照、登録、変更、取消)を設定できること。
	403 権限毎に、施設毎(火葬炉、式場、待合室、霊安室、霊柩車)の空き参照可否・予約可否・予約可能期間、予約変更可能期間を設定できること。また、5年以上過去の予約実績の登録も可能なこと。
	404 権限毎に、施設毎(火葬炉、式場、待合室、霊安室、霊柩車)の予約可能期間、予約変更可能期間を午前の枠・午後の枠毎に設定できること。また、5年以上過去の予約実績の登録も可能なこと。
	405 霊安室の入棺可能時間と出棺可能時間を設定できること。
	406 火葬日当日の霊安室入棺を不可とする設定ができること。
	407 権限毎に、予約の登録、変更、取消時の自動メール送信先を設定できること。
	408 権限毎に、予約登録時にメール送信先の選択可否をマスタで管理できること。
	409 権限毎に、お知らせ情報への操作権限(参照、登録、変更、取消)を設定できること。
	410 権限毎に、業者情報への操作権限(参照、登録、変更、取消)を設定できること。
	411 予約取消後の再予約不可時間を設定できること。
マスタ管理-定期メール	412 職員向けに定期メールを送信できること。
	413 送信先は権限を指定できること。
	414 送信タイミングを設定できること。
	415 送信する件名と本文を設定できること。
マスタ管理-お問い合わせ情報	416 システム上に表示される斎場情報(斎場名、郵便番号、住所、電話番号)を管理できること。
マスタ管理-マニュアル	417 システムからダウンロード可能なマニュアルを管理できること。
	418 管理者用、一般職員用、業者用、全員用(未登録業者や一般住民含む)マニュアルをそれぞれ管理できること。
	419 管理者用、一般職員用、業者用、全員用(未登録業者や一般住民含む)マニュアルは各5ファイルずつアップロードできること。
マスタ管理-その他	420 六曜を管理できること。稼働後はCSVで一括で登録できること。
	421 六曜をカレンダー形式で登録・確認できること。
	422 郵便番号を管理できること。

職員向け機能

機能名	機能内容	
	423	住民登録地の確認文言を火葬種別毎に設定でき、文字色の変更も可能であること。また、稼働後も職員が変更できること。
	424	予約登録画面の地域区分についての注意文言を登録できること。
アクセスログ	425	システムの操作ログ(アクセス日時、IPアドレス、ログイン権限、ログインID、ログイン名、操作内容)を画面上から確認可能であること。また、随時帳票は出力した帳票名が確認できること。
	426	直近で検索した条件が保持されること。
	427	操作ログをCSV出力できること。
	428	ログ履歴は手動で削除できること。
仮押さえ解除	429	仮押さえられた予約枠を手動で解除できること。
バックアップ	430	サービスを停止することなく、自動でバックアップデータを作成し、稼働領域とは別の場所に保存できること。